

葛飾区のお知らせ

第174号

昭和43年1月20日
発行 葛飾区役所
葛飾区立石5丁目13番1号
TEL 697-7531 大代表



紫又のはじぎさる

題字 葛飾区長 小川孝之助

今年ハサル年、紫又のはじぎさるハ
運をはじき出すという縁起もので
今年こそはという人々に大モテ。
このはじぎさるハ江戸の末期、今から
およそ百二十年前紫又の百姓石井常右
エ門が帝釈天参りのみやげとして庚申

の日の猿にちなんで作ったものです。
赤い布で作ったぬいぐるみのサルが
竹のバネでピョンと飛び上がる簡単な
もので、紙と布と竹細工の素朴くさ
ユーモラスな味で、東京では数少ない
郷土色豊かながん具の一つです。



2月 区民ホールの 無料相談

- | | | |
|------------|---------------------------|------------|
| ● 更生保護相談 | 2日/9日/16日/23日(金曜日) | 午後1時~午後4時 |
| ● 建築関係相談 | 2日/9日/16日/23日(金曜日) | 午後1時~午後4時 |
| ● 電報電話相談 | 5日/19日(第1・第3月曜日) | 午前10時~午後4時 |
| ● 交通事故相談 | 6日/13日/27日(第1・第2・第4火曜日) | 午後1時~午後4時 |
| ● 税金と経理相談 | 7日/14日/21日/28日(水曜日) | 午前10時~午後4時 |
| ● 法律相談 | 7日/14日/21日/28日(水曜日) | 午後1時~午後4時 |
| ● 行政苦情相談 | 15日(第3木曜日) | 午前10時~午後4時 |
| ● 人権身の上相談 | 20日(第3火曜日) | 午前10時~午後3時 |
| ● 内職あっせん相談 | 29日(第5木曜日)・・・米穀通帳をご持参ください | 午前10時~午後4時 |

都営住宅の公募

◆都営住宅の公募は
1月29日(月)から
2月3日(土)まで
申し込み用紙を区民
ホール、出張所、で
交付いたします。
米穀通帳を忘れず
にご持参ください。

水元公園

水元公園にきまる

昨年六月、明治百年記念事業の一つとして都立水元公園など全国で十カ所の公園整備が決定されました。記念公園は国庫補助（三分の一）で都道府県が事業に着手し、緑の少ない都市や近郊に設け、家族連れで自然に親しめるようにするのがねらいです。公園内には明治百年を記念する記念広場をはじめ記念塔、花壇、噴水、池、泉水、などを配置します。そのほか地方色を象徴化するため「都道府県の木」など樹木を多く植え、緑豊かな公園に整備されます。



明治百年の記念森林公園に決定された水元公園

株の花ショウブが咲き乱れる全国でも有数の公園です。しかし最近では埼玉県側に、けぼしばし屋根の住宅、洗たくもの、工場廃液など「水郷公園」の美観はそこなわれるばかり、そこで実際にこの実情を視察した美濃郡知事が埼玉県知事に「いっしょに公園づくりをやりましょう」と持ちかけ、公園づくりが具体化しました。隣接二都県がカキネを取りはらって都市公園づくりに乗り出すのも間近かです。区でもこの記念事業にさきがけて岩槻街道からサクラ土手に抜ける

都市化への道を一歩一歩前進はじめた葛飾区は道路、橋、住宅などいたるところで、力強い建設のつち音が響きわたり、いま急速にその面目を一新しつつあります。

ここ国鉄金町駅北口に大規模な「市街地住宅」の建設が進み、新しい町づくりが着々と進められておきます。この「市街地住宅」を含め、常磐線の北側は江戸川、中川にはさまれ「東京唯一の水郷水元公園」その他緑地を擁した自然美豊かな地域で、将来の住宅地として飛躍的な発展が期待されております。

このような開発途上にある住宅地を背負った、金町駅北口の「市街地住宅」はこの地域の玄関口として、また葛飾区北部のターミナルとして発展するのも近いといえます。

こうした町づくりにそなえ、国鉄金町駅北口の開設、常磐線複々

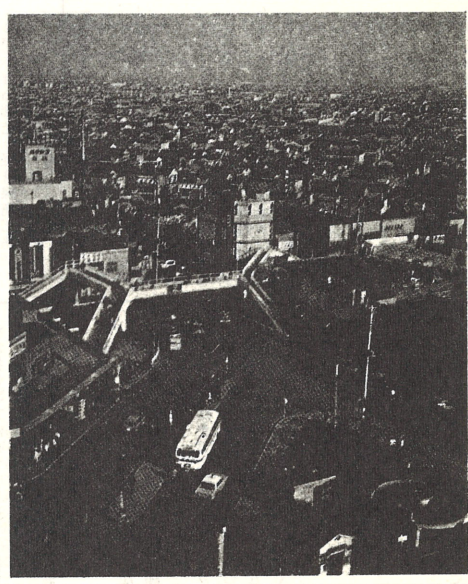


国鉄金町駅北口に完成した地上15階建ての高層市街地住宅

線化による乗降客の増大にそなえ、昭和四十五年三月までには金町駅の全面的な改築も予定されております。

国鉄金町駅 北口一帯

- メ モ
- 交通 国電・京成金町駅から戸ヶ崎行きバス、水元公園前下車、徒歩3分
 - つり 釣仙郷 おとな40円 こども20円
 - 涼事 集会などに利用できます（有料）お申し込みは土木部管理課へ（内線344～346）



新小岩駅前完成した「コの字型」の歩道橋

ここにも

歩道橋が：

「さあ、きょうからこの歩道橋を渡るんだ」と子どもたちが元氣よく渡っていく。こんな風景が区内の各所に見られるようになりました。横断歩道橋はここ二三年のうちに急激にふえた橋のニューフェイス

子どもの安全を願って

です。歩行者を激増する車から守るにはこれが一番有効な手段だからです。区内の都道、国道にかかる歩道橋の数も昭和四十四年四月に完成した水戸街道（四つ木四丁目）の歩道橋を初め十二カ所となり、さらに新宿五丁目教育センター前など五カ所が完成する予定です。

都では昭和四十三年度重点施策の第一に交通安全対策を取り上げております。交通量の増大に伴って、交通事故による死傷者はふえるばかり

です。このため昭和四十三年度を交通安全年間として、歩行者保護施設の増設、交通規制の強化など交通安全の関連事業を総合的に結集していくこととします。区内の交通事故件数も増加の一途をたどり、交通安全対策にますます力をそそがねばなりません。子どもを交通事故から守るため、通学路には信号機、ガードレールなど他の交通安全施設とともに歩道橋の建設が急ピッチで進むこと

が予想されます。だれもが、歩道橋の必要を認めながら、建設計画が具体化すると、その位置について地元の強い反対のため建設が遅れる事例も少なくありません。歩道橋の建設がのびのびなっているうちに横断中の子どもが車にはねられるという事故が起きてくるのです。そうぞく建設される歩道橋が交通安全の全面的な解決策とはいえませんが、この悲劇を少しでも減らして行きたいと願っております